

議会のトピックス

次年度の予算編成に生かすため 6つの提言



TOPICS

常任委員会報告

議員一般質問



「子ども議会」で子ども達と交流(詳しくは13ページへ)

第3回臨時会

新たな議会構成が決まりました

8月7日に開催した第3回臨時会で正副議長の選挙や各委員会の改選などを行いました。
新たな議会構成とそれぞれの意気込みを紹介します！

皆さんの声が市政につながっていると実感できる議会を目指し、広報・広聴機能の連携充実を図ります！



副議長 高木 将延

議長 澤野 伸

市民の皆さんから負託を受けた重責を念頭に、議会としての権能を一層発揮できるように努めます！

議会運営委員会

円滑な議会運営のために協議する場です。議会から出向いて行くなど市民の声を幅広く聴けるような議会活動に努めます。また研修等により議員のスキル向上を図り、議会DXを進めます。



委員長 板津 博之
副委員長 伊藤 健二
委員 亀谷 光
川合 敏己
山田 喜弘
天羽 良明
伊藤 壽
渡辺 仁美
松尾 和樹
酒向さやか

広聴部会

議会報告会などで市民の皆さんの意見をお聴きし議会活動に生かします。子ども議会や高校生議会などで幅広い世代と交流します。

部会長 川上 文浩
副部会長 渡辺 仁美
部会員 亀谷 光
伊藤 健二
伊藤 壽
板津 博之
奥村 新五

多様な広報手段で議会活動をわかりやすく周知します。広聴部会と連携して議会をより身近に感じてもらう広報活動を推進します。

広報部会

部会長 天羽 良明
副部会長 富田 牧子
部会員 川合 敏己
山田 喜弘
松尾 和樹
田口 豊和
酒向さやか
前川 一平

常任委員会

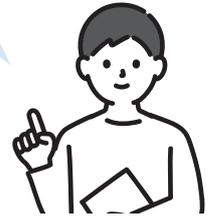
予算決算委員会

委員長 山田 喜弘
副委員長 野呂 和久

※議長と監査委員を除くすべての議員で構成されています。

常任委員会とは？

議案などをより効率的・専門的に話し合うための委員会です。可児市には4つの常任委員会があります。行政の各部門に応じて、それぞれが抱える課題などについても調査研究しています！



総務企画委員会

委員長 松尾 和樹
副委員長 天羽 良明
委員 亀谷 光
澤野 伸
板津 博之
大平 伸二
田上 元一



南海トラフ地震を想定した地域防災力の向上について、自治会未加入者の増加や消防団員定数割れ等の課題を踏まえ、調査研究に取り組みます。遊休農地問題については、現状把握と対策の調査研究に努めます。



建設市民委員会

委員長 伊藤 壽
副委員長 前川 一平
委員 伊藤 健二
川上 文浩
酒井 正司
山田 喜弘
高木 将延
奥村 新五

さつきバスなどの公共交通、地球温暖化などの環境問題、生活道路や排水路改修、文化芸術やスポーツ振興など本委員会所管の幅広い分野の課題解決に向け、取り組んでいきます。



教育福祉委員会

委員長 川合 敏己
副委員長 渡辺 仁美
委員 林 則夫
富田 牧子
野呂 和久
田口 豊和
酒向さやか



市民の皆さんが健やかに安心して生活ができるように、そして子ども達が笑顔で学べるよう福祉や教育サービスの充実に向けて取り組みます。ぜひ皆さんの声をお聴かせください。



予算決算委員会報告

市議会に報告された市の決算は、予算決算委員会で予算の使い方が適正であったかを審査した後、本会議で採決します。

今回、決算内容等について委員からは113件の質問が出され、審査しました。

本委員会での質問や討論、次年度の予算編成に向けた提言の内容をお知らせします。

※決算状況等の詳細は広報かに10月号または市ホームページをご覧ください。

令和5年度一般会計決算

◆質問と回答◆

Q 証明書発行時の申請書記入を最小限とする「**簡単証明窓口システム**」の導入効果は。

A 本システムは住民票や印鑑証明書の取得に利用可能である。

利用者からは申請書を書く手間が省けるとの声が多くあり、受付件数も伸びている。

また申請書作成と同時に証明書が発行されるため、時間が短縮され、市民サービスの向上につながっている。

Q 試験的に導入している可燃ごみ袋(大)の幅広タイプの導入予定は。また環境に配慮した素材への変更の検討は。

A 令和5年度は市民モニターへのアンケートや一部販売店での試験販売を行った。今後は、市役所や地区センターでも試験販売を行うなど、本格導入に向け、作成枚数や仕様について市民意見を聴きながら、検討していく。

環境に配慮した素材についても、他市事例を参考に検討する。

Q 幼稚園に通う園児が減少傾向にある中、幼稚園の認定ごども園への移行が課題として挙げられているが、市としての方針は。

A 幼稚園が認定ごども園に移行することで、保育ニーズのある子も受け入れ可能となるため、施設の選択肢も保育の受け皿も広がり、保護者の利便性が向上するメリットがある。

また、市としては増加する3歳未満児の保育枠の確保につながるため、公立園のあり方も踏まえながら、市として推進していく方針である。



「簡単証明窓口システム」で手続きを簡単に(市民課窓口)

◆討論の内容◆

反対 毎年度の基金への積立が過大と思われる。喫緊の課題である市立小中学校体育館へのエアコン設置や地区センターのトイレ洋式化などに基金を活用し、市民福祉の向上を図るべきだ。

また、リニア中央新幹線の建設にあたっては、環境基準値を超える騒音が危惧される地域があるなど様々な問題がある。リニア関連の歳入歳出はすべきではないこと等から、反対。

賛成 国の物価高騰に対する施策に関し、市民生活の安心につなげるため迅速に対応したことや、4つの重点方針を中心としてコロナ禍後の本市を見据えた各種取り組みを適正に進めていることから、賛成。

後期高齢者医療特別会計決算

◆討論の内容◆

反対

令和4年10月から一定以上の年金収入等がある人の医療費の窓口負担が2割となった。窓口での一部負担金の支払いが困難で医療を受けられない世帯も生じている。今後さらに窓口負担率の高い人を増やそうとするなど、高齢者の暮らしを圧迫する制度であることから、反対。

賛成

令和5年度から高齢者の保健事業と介護予防事業を関係機関が協力して、健診受診の意識向上のための情報提供や相談の仕組みを構築してきた。さらに、国保データベースシステムを活用して健康課題を分析するなど、後期高齢者の健康維持やフレイル予防を図っていることから、賛成。

介護保険特別会計 決算

◆◆◆ 本論の内容 ◆◆◆

反対

第1号被保険者の保険料の基準額は月額で5,700円

にもなり、制度開始当初の2倍である。基準を超える預貯金額がある低所得の施設入所者は補給付の対象外となり、食費や居住費の負担が増加している。

また、利用料金の2割、3割負担の導入や、特別養護老人ホームの入所要件が要介護3以上となるなど、これ以上の保険料引き上げと介護サービスの縮減をすべきではないことから、反対。

賛成

地域支援事業や地域包括ケアシステム推進事業などにおいて、在宅医療・在宅介護との連携が図られ、地域生活支援の推進が適正に進められていることから、賛成。

決算の状況から事業の検証や予算の拡充など、予算編成に向け提言しています



令和7年度予算編成に向けた市長への提言

1. 森林環境譲与税及び森林環境税について

森林環境譲与税及び森林環境税については、多方面での活用方法を全庁的に精査し、市全体として積極的に有効活用されたい。

2. 財政調整基金のあり方について

将来的な財政需要のために財政調整基金への積み立ての必要性は理解するが、市民生活の向上に資する各種事業を推進するため、より積極的に利活用されたい。

3. DXの推進について

第3期可児市総合戦略の策定にあたっては、国のデジタル田園都市国家構想に基づき、デジタル実装の交付金等を積極的に活用し、市全体として更なるDX推進を図られたい。

4. 道路維持事業、交通安全環境整備事業について

市民要望の強い生活道路の舗装等修繕やカーブミラー等の交通安全施設の整備に関し、幅広く応えられるよう十分な予算措置を講じられたい。

5. 環境まちづくり推進事業について

市の温暖化対策の取組状況を効果的に周知するとともに、市民、事業者、市との連携を強化し、ゼロカーボンシティ推進計画の実行に向けた積極的な予算措置を講じられたい。

6. 不登校支援の強化について

庁内関係部署の連携を強化し、不登校児童生徒の居場所の確保、保護者への支援及びその支援活動を行う市民団体の継続的な取組みに必要な予算措置を講じられたい。



報告事項

市総合戦略の推進について

令和5年度市総合戦略の効果検証の結果や、第3期市総合戦略の策定などの報告がありました。

Q.国は、デジタル技術を活用し地域の課題解決・魅力向上を図ることを重要視している。デジタル実装の交付金をより活用すべきでは。

A.「住みごこちのよさ」を追求し、定住促進等に取り組んでいるが、人口減少への対応手法としてはDXも非常に重要である。引き続き、デジタル実装の交付金の活用も検討しながら、まちづくりを進めていきたい。

8/26

遊休農地等を 現地視察し課題を把握

今・東帷子・瀬田・久々利地区の耕作の現状を視察し、担い手不足などの課題を再認識しました。



議案審議

市運動公園整備事業用地の取得

平時の利用者駐車場や災害時の自衛隊・消防などの対策本部、仮設住宅設置場所などの役割として用地を取得するものです。

Q.整備後、市運動公園（坂戸）は広域避難所、救援物資の集配拠点などの役割を持つことになるが、防災担当課との連携は。

A.災害時の施設利用については、防災安全課と協議し、どのような活用になるかを「市防災計画」の中で示していくよう整理しているところである。

7/27

「かたびら交通まちづくりを 考える会」と交通課題を共有

帷子地区の日常的な移動手段の確保や交通利便性の改善に向け活動している団体と意見交換し、課題を共有しました。



委員会質疑

校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）の設置促進を

校内教育支援センターとは、落ち着いた環境で、一人一人の興味や関心に応じた学習・生活ができる場として学校内に設けられるものです。

Q.市内小中学校の校内教育支援センターの設置状況や課題、今後の方針は。

A.中部中学校と蘇南中学校に設置し、サポーターを常時1人配置している。多様なニーズに対応できるよう個別の部屋などの環境整備が課題。引き続き県の補助金も活用しながら、設置校を増やしていきたい。

7/5

「下切サロンひだまり」の 皆さんと意見交換

下切の高齢者サロンにおじゃまして日頃の移動手段の困りごとなどについて意見交換し、地域の課題を共有しました。



提出された議案と審議結果 可決

第3回臨時会（8月7日）

8月7日に第3回臨時会を会期1日で開催しました。提出された議案は契約1件で、原案のとおり全会一致で可決されました。

番号	件名
議案 60	請負契約の締結（防災行政無線施設更新工事）

第4回定例会（8月21日～9月25日）

提出された議案は、認定14件、予算5件、条例5件、人事4件、その他4件の合計32件でした。すべて原案のとおり認定・可決されました。

【全会一致で認定・可決された認定】

番号	件名	番号	件名	
認定	2 令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	議案	64 令和6年度可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計補正予算（第2号）	
	5 令和5年度自家用工業用水道事業特別会計歳入歳出決算認定		65 令和6年度下水道事業会計補正予算（第1号）	
	6 令和5年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定		66 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
	7 令和5年度可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計歳入歳出決算認定		67 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	
	8 令和5年度土田財産区特別会計歳入歳出決算認定		68 福祉医療費助成に関する条例の一部改正	
	9 令和5年度北姫財産区特別会計歳入歳出決算認定		69 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	
	10 令和5年度平牧財産区特別会計歳入歳出決算認定		70 国民健康保険条例の一部改正	
	11 令和5年度二野財産区特別会計歳入歳出決算認定		71 土田財産区管理委員の選任	
	12 令和5年度大森財産区特別会計歳入歳出決算認定		72 固定資産評価審査委員会委員の選任	
	13 令和5年度水道事業会計決算認定		73 教育委員会委員の任命	
	14 令和5年度下水道事業会計決算認定		74 人権擁護委員候補者の推薦	
	議案		61 令和6年度一般会計補正予算（第2号）	75 財産の取得（運動公園整備事業用地）
			62 令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	76 財産の処分（可児御嵩インターチェンジ工業団地の工場用地の分譲）
			63 令和6年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	77 令和5年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
		78 令和5年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分		

【賛否が分かれた議案】

番号	件名	田上	前川	酒向	山口	松尾	奥村	大平	渡辺	高木	板津	伊藤	天羽	澤野	山田	酒井	野呂	川合	川上	伊藤	富田	亀谷	林	
		元一	一平	さやか	豊和	和樹	新五	伸二	仁美	将延	博之	壽	良明	伸	喜弘	正司	和久	敏己	文浩	健二	牧子	光	則夫	
認定	1 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	3 令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	4 令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	○	○

※○は賛成 ●は反対 ※議長（澤野 伸）は採決に加わらない。
 ※議案の詳しい内容については、議会ホームページまたは議会事務局窓口にてご覧いただけます。

11の視点 一般質問

コミュニティ・スクール 導入の経緯は



たがみ もとかず
田上 元一

Q 本市がコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入しようとした経緯は。

A これまでの地域と学校と家庭のつながりを大切にして、それぞれがより主体的に学校教育に関わる仕組みを整えることで子どもたちの未来の笑顔につながる「笑顔の」とを共有し、育んでいく必要があると考えたためである。

Q 地域と学校の協働体制構築のために必要なことは何か。

A 地域と学校の連絡調整を図るとともに、学校運営協議会で学校課題等について十分な熟議がなされることである。

Q 市内各小中学校が策定している危機管理マニュアルは適正に運用更新されているか。



学校運営協議会の様子(西可児中学校区)

Q 毎年、年度当初に教育委員会から更新を依頼し、各校で内容を更新するとともに、「命を守る訓練」を実施している。

Q 国の3カ年集中補助制度を活用して不審者対策を一步前に進める考えはないか。

A 現時点では考えていないが、今後必要な対策を実施する際に活用できる補助制度があれば積極的に活用していく。

子ども連絡システム すぐーるの有効活用は



まつお かずき
松尾 和樹

Q 「すぐーる」は毎年度4月に各市立小中学校で保護者に登録を案内し、対象者のほぼ全員が登録する非常に周知機能の高いツールである。

Q この「すぐーる」を活用して、教育委員会が後援するイベントなどの情報を配信することは可能か。

A 「すぐーる」は各学校の連絡システムである。教育委員会の後援を受けた事業全ての情報を配信することになれば、年間の配信件数が多くなり、連絡事項等の肝心な情報が埋もれてしまう可能性があるため、広報システムとしての活用は想定していない。

地域活動の支援とDX推進の両立を

Q 「すぐーる」を活用することで、イベントチラシの大量印刷を省くことができ、仕上げ作業等の大幅なコスト削減、CO₂の低減に繋げることができ

A 「すぐーる」を広報システムとして活用していく考えはないか。

A 子ども達の安心安全という観点から連絡システムとしての活用を優先していきたい。



「すぐーる」のさらなる活用を



YouTubeで一般質問の様子を配信しています。※一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。

11の視点 一般質問

障がい者雇用は前進しているか

Q 本年4月1日より障がい者の法定雇用率が、常時雇用する労働者が40人以上の民間企業では2.5%に、国や地方公共団体等の雇用率は2.8%に引き上げられた。本市役所や市内民間企業における障がい者の雇用状況は。

A 本市役所における障がい者の雇用率は、令和6年度2.9%であり、法定雇用率を満たしている。

一方、市内の民間企業の状況については把握していない。ハローワーク多治見によれば、管轄内の4市1町全体での障がい者雇用率は2.14%（令和5年6月1日現在）で、法定雇用率を達成している企業の割合は50.6%となっている。



とみだ まきこ
富田 牧子

就労移行支援、就労定着支援事業での成果は

Q 障がい者が福祉的就労から一般就労するにあたり就労移行支援事業、就労定着支援事業が行われてきたが、実績は。

A 就労移行支援はコロナ禍の利用控えにより減少傾向で、就労定着支援では就労が継続できるよう利用者への相談・指導・助言等が行われており、徐々に利用者が増えている。

障がい者の法定雇用率が段階的に引き上げられます。(令和5年4月以降)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
民間企業(法定雇用率)	2.1%	2.5%	2.7%
国公共団体等	2.8%	2.8%	2.8%

※雇用者を選別しない場合は法定雇用率未満には、以下の範囲があります。
 ・令和5年1月1日現在で雇用者数が100人以下の企業
 ・障害者の雇用の促進等に関する法律(障害者雇用の促進等)の適用(法的義務)

障がい者の法定雇用率引上げと支援策の強化(厚生労働省HPより)

本市の幼稚園・保育園の現状と将来について

Q 本市の出生数の状況は。

A 生産年齢人口の減少、婚姻数の減少等の要因で、全国的に出生数は大きく減少しており、本市においても推計値以上に出生数が減少している。

Q 本市の幼稚園・保育園の園児数等は、過去5年間どう推移しているか。

A 令和2年度から6年度の在園児数は、幼稚園が1797人から1302人に大きく減少する一方で、保育園等は1386人から1339人とほぼ横ばいである。また、定員に対する充足率(令和6年4月1日現在)は私立幼稚園が46.49%、公立幼稚園が40%、私立保育園が89.91%、公立保育園が76.43%といずれも減少傾向にある。

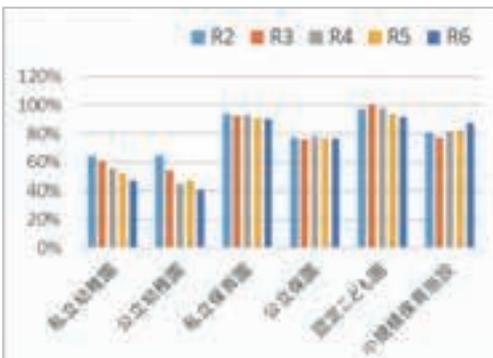
公立園はどうあるべきか

Q 今後の公立園の在り方は。

A 民間が受入れにくい子どもを受入れる必要性等、公的な施設の果たす役割として課題は多いが、市民ニーズを踏まえた子育て施策を今後どうするか議論の中で、公立幼稚園・保育園が果たすべき役割を見定めながら、次期の計画等において検討していく。



かわかみ ふみひろ
川上 文浩



過去5年間の市内施設の充足率

11の視点 一般質問

マイナ保険証の普及と 利用促進策は



やまだ よしひろ
山田 喜弘

Q マイナ保険証利用促進のための周知策は。

A 本年12月2日より現行保険証が発行されなくなるため、広報かに11月号でマイナンバーカードの申請や保険証の紐付け方法、病院や薬局での利用方法を周知していく。その他、市ホームページ、ケーブルテレビ、FMらら等様々なツールを利用し周知する。

Q 高齢者施設等入所者への支援の取組みは。

A 現在専用車両「マイナちゃんカー」を導入し、希望のある個人宅などに向き、申請を受け付けている。

高齢者施設においても人が集まるロビー等で申請が可能である。

Q リチウム蓄電池等の分別回収の広報強化を

Q リチウム蓄電池等の分別回収の広報強化は。

A 毎年広報かに3月号に、家庭ごみ・リサイクル資源の分け方や出し方を掲載したチラシを折り込むなど様々な手段で市民に周知・啓発を随時行っている。今後も、より分かりやすく丁寧な周知・啓発に努めるとともに、危険性についても周知していく。



マイナ保険証のリーフレット

車いすでの さつきバスの利用は



たぐち とよかず
田口 豊和

Q さつきバスの停留所は、場所によっては車いすでの利用ができない。設置場所を見直す考えはないか。また、車いす利用者は乗り降りに時間を要するが、その対策は。

A 利用希望の停留所が乗降困難な場合は、近隣の乗降可能な停留所を案内するなど対応していく。また現在の停留所が車いすの利用が可能か再度確認し、場合によっては移設等の検討をしていきたい。

乗務員は車いす利用者の対応について講習を受けている。他の利用者にも、乗降時間を要する場合があることへの理解について啓発していく。

運転免許証自主返納者への
支援は

Q 公共交通利用促進のため、プレゼントしているバス回数券を共通券化してはどうか。

A 運転免許証自主返納者へプレゼントする回数券の共通券化は、利用者や自主返納を考えている人のメリットは大きい。東濃鉄道路線バス帷子線は利用区間で料金が異なるため難しいが、さつきバスと電話で予約バスの共通券化を運行事業者と協議している。



スロープを取付けるさつきバス運転手

11の視点 一般質問

若者主体の 地域活性化に向けて



まえかわ いっぺい
前川 一平

Q 若者のアイデアを市政に反映させる仕組みは。

A 平成29年7月から「Kansuki若者プロジェクト」として、市オリジナルの婚姻届のデザインや、市観光ガイドブックの作成など13の事業を若者の参加を得て実施している。今後もこのプロジェクトにかかわらず、あらゆる機会において若者の意見をとらえ、実現に向けた支援を行いながら、市政に反映していきたいと考えている。

Q 若者主体のプロジェクトに対する支援は。

A 若者に特化したものではないが、市民の主体的な活動に対する支援として「市まちづくり活動助成事業」がある。

若者の活動に対する支援は



岐阜医療科学大学の学生さんとお仕事体験(カニミライブ)

その他、子育て支援に関する活動への「市こどものすこやかな育ち応援活動助成金」や、「可児ビジネスカフェ」での新規創業、経営相談などの支援を実施している。

また、「公民連携ワンストップ窓口」においては企業のみならず、市民活動団体からも市の魅力づくりにつながる連携事業を受け付けているため、ご利用いただきたい。

リニア建設工事の水枯れ、 地盤沈下が心配



いとう けんじ
伊藤 健二

Q リニア中央新幹線工事では瑞浪市での湧水・水枯れ問題に続き、地盤沈下まで起きた。本市大森工区における井戸の水位観測の体制は。

A JR東海は、大森地区で5カ所、柿下地区で3カ所の井戸調査を月1回実施し、年1回公表しているが異常は見受けられない。JR東海からの異常報告もない。

荒川豊蔵資料館周辺の 騒音対策が必要では

Q 資料館周辺ではリニア橋脚との距離が約50mと近い。来館者や職員など関係者の健康被害が心配だ。県の推計値でも16両編成のリニア中央新幹線が高速走行すれば、騒音の環境基準値を超えて騒音公害となる。

A リニア実験線の騒音予測値では80デシベルを超える値となり、環境基準値を超える。JR東海は各対策を実施し、環境基準を達成された場合と同等の屋内環境を保持し、基準との整合を図ること、基準未達成の場合には真摯に対応すると回答している。市は環境基準を満たすよう県と連携し対策措置を要望していく。



リニアの騒音が心配される
荒川豊蔵資料館

防音防災フードを設置する等対策が必要だが状況は。

A リニア実験線の騒音予測値では80デシベルを超える値となり、環境基準値を超える。JR東海は各対策を実施し、環境基準を達成された場合と同等の屋内環境を保持し、基準との整合を図ること、基準未達成の場合には真摯に対応すると回答している。市は環境基準を満たすよう県と連携し対策措置を要望していく。

11の視点 一般質問

ウォーキングで 可児を元気に



たかぎ まさひろ
高木 将延

Q ウォーキング人口は増加傾向にある。市内で開催されるウォーキングイベントの実施状況は。

A 光秀ウォーキング、兼山謎解きウォークラリー、木曽川周遊ウォーキング等が開催され、親子連れの参加も多くあり、賑わっている。今後も改善しながら安全面も配慮し、継続実施していく予定である。

Q イベント参加者へ「歩こう可児302」の啓発を行っているか。

A 参加者はウォーキングへの目的意識があり、啓発効果が期待できることから、ウォーキングアプリの紹介や市健康づくり運動普及推進協議会作成のウォーキングマップ等を活用し、啓発していく。

南海トラフ地震 臨時情報への対応は



たかぎ まさひろ
高木 将延

Q 8月8日に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発せられたが、本市はどのように対応したのか。

A 地域防災計画に基づき災害警戒本部を設置し、職員へ自宅待機を指示した。市民にはすぐメールかんで非常持出品の確認等をお知らせした。



木曽川周遊のウォーキングイベント

キッズクラブの 暑さ対策は十分か



かわい としみ
川合 敏己

Q キッズクラブの夏の暑さ対策は十分にできているのか。

A 学校の空き教室は屋根に、専用施設は天井と外壁に一般的な断熱材を使用している。日常生活を送る上で断熱能力に問題がある建物は無いが、昨今の猛暑により今渡南小学校キッズクラブ（専用施設）の2階保育室で暑さ対策の必要性が出てきている。

Q 今渡南小学校キッズクラブの暑さ対策は、どのように実施しているか。

A 窓への遮光フィルム貼付けや遮熱カーテンの設置のほか、冷風機やサーキュレーターを稼働するなどして室温のモニタリングをしている。

その結果を踏まえ、効果的な対策を検討し、来年度の夏前までには対応していきたい。

現場の声への対応は十分か



かわい としみ
川合 敏己

Q 現場の意見は集約・反映されているのか。

A 指導員からの意見や要望は毎月のキッズリーダー会では収集するほか、随時各キッズクラブから連絡を受けている。要望が施設や設備に関する場合は現場確認を行い、対応している。



二階建ての今渡南小学校キッズクラブ

11の視点 一般質問

避難所へのペット同行による 訓練の実施状況



のろかずひさ
の野呂和久

Q 令和6年能登半島地震等の教訓を踏まえ、政府の中央防災会議は、災害対応の基礎となる防災基本計画を修正した。防災訓練時には、家庭動物飼養の有無による被災時のニーズの違いに配慮するよう修正を加えている。本市のペット同行避難等訓練の取組み状況は。

A 平成29年度の防災訓練では、桜ヶ丘地区センターでペット同行による避難所受入れ訓練を実施した。各指定避難所では避難所全体の配置図を作成しており、一部の避難所ではペットの受入れ場所も想定している。全避難所がペットの受入れ場所を想定したも

気象防災アドバイザーの活用を

のとなるよう更新する。

Q 気象庁は自治体に災害対応の助言を行う気象防災アドバイザーの活用を呼びかけている。本市の方針は。

A 災害対応時は気象台とのホットラインが構築されている。(株)ウェザーニューズとアドバイザー契約もしているため活用は考えていないが、令和6年度からの防災士取得者を対象としたフォロアアップ研修講師の候補者として平時での活用を検討していきたい。



災害時はペットも家族の一員として同行避難



議会レポート

子ども議会を開催



7月9日、帝京大学可児小学校の皆さんを迎えて子ども議会を開催しました。議員が市職員役、子どもたちが議員役となって、厳しい財政状況の架空の市を舞台に、「どの事業を止めるか」を決める模擬議会を体験しました。どんなまちだと住みやすいのか、なにを優先するかなど、本番さながらの活発な話し合いがされました。



議会改革に関する視察を受け入れ



他の議会からの行政視察を受け入れ、政策提言のサイクルや、若い世代との交流など、本市議会のこれまでの改革の歩みについて、議員が説明しました。

- ・千葉県富津市議会（7月3日）
- ・神奈川県伊勢原市議会（7月4日）
- ・鹿児島県霧島市議会（7月10日）
- ・東京都中央区議会（8月6日）
- ・長野県宮田村議会（10月1日） など

チョット おじゃまします

軽スポーツで地域の元気づくり シリーズ1

皆さんは「軽スポーツ」をご存じですか？一般的なスポーツに比べて体にあまり負担がかからず、気軽に誰もが楽しめるスポーツのことです。軽スポーツを通して地域の元気を探ります！

シリーズ第1弾として、議会広報部会員の天羽議員・松尾議員・酒向議員・前川議員の4人が、毎週月曜日と木曜日に塩河でグラウンドゴルフを楽しむ皆さんと一緒にプレーし、健康の秘訣など色々なお話を伺いました。
※文中で広報部会員は（広報）、塩河の皆さんは（塩河）としています。

広報：皆さんグラウンドゴルフがとてもお上手ですが、どのくらいやられているんですか。
塩河：塩河グラウンドが整備されて以来来っている人もいます。私は、10年以上楽しくやっていますよ。
広報：どおりでお上手ですね。皆さんはどんなお仲間なんですか。
塩河：このグラウンドが出来て、すぐ10人程の仲間が集まりました。みんな歩いて来られるくらい近所の仲間です。
広報：暑い中でも皆さんお元気ですが、健康の秘訣は何ですか。
塩河：みんなで楽しく仲間とお話しながら体を動かすことです。私たちは、ベタンク、ゲートボールなど色々な軽スポーツを経験して、このグラウンドゴルフに出会いました。



グラウンドゴルフを楽しむ塩河の皆さん



仲間と楽しくはつらつプレー！

広報：市では現在、市民の皆さんが健康づくりのために利用できるよう坂戸の運動公園を再整備中ですが、ご存じですか。
塩河：はい。人工芝になった時にプレーするのが楽しみです。この先も健康でいて、新しいグラウンドでもプレーしてみたいです。
広報：最後にグラウンドゴルフの魅力をどうぞ！
塩河：秋には市のグラウンドゴルフ大会もあります。無理なく誰でも気軽に楽しめるスポーツなので、皆さんもぜひやってみてください。

第5回定例会のお知らせ

11月	
29日	開会日（議案説明）
12月	
5日、6日	一般質問・議案質疑
10日	予算決算委員会
11日	総務企画委員会
12日	建設市民委員会
13日	教育福祉委員会
20日	閉会日（委員長報告・討論・採決）

※会議は午前9時開会の予定です。
※日程は、都合により変更する場合があります。

議会活動を見て・知って 議会広報番組「議会のトビラ」

令和6年度上半期の議会活動をお伝えする番組をCTK可児で放送します。
放送予定 11月2日(土)～8日(金)
各日 6時00分、10時15分、15時15分、19時45分、21時15分

ぜひ見てくださいね

